

1 はじめに

本校は、「助川を誇りに思い、夢や希望をもって未来を拓く児童の育成」という教育目標のもと、児童主体の特別活動に取り組んでいる。今年度、創立150周年の記念行事があり、運営委員会と6年生の実行委員会が中心となって企画・運営を行った。以下、創立記念集会の実践を紹介する。

2 資料

(1) 助川を誇りに思う児童の育成

ア 助川の歴史紹介動画

運営委員会で、台本作りやクイズ作成、撮影を行った。本校の郷土資料室や学校HPから昔の写真を集め、歴史を紹介することで150周年の歴史に思いを馳せ、伝統を守ろうとする態度の育成を図った。



イ クラスPR動画

150周年を共に迎えることができた喜びを実感し、助川小への愛校心を育むことができるよう、自分たちのクラスの良さを紹介する動画を撮影し、全校で視聴した。



ウ 助小ビンゴ

本校にまつわるキーワードを提示し、全児童がその中から言葉を選び、ビンゴカードを作成した。当日は、そのキーワードの内容を紹介しながらビンゴを行い、大きな盛り上がりを見せた。



(2) 夢や希望をもって未来を拓く児童の育成

ア 全校制作物「空に未来がかけたなら」

6年生の実行委員で企画し、準備を行った。児童一人一人が未来の自分の生活を想像した絵を、養生シートに描いた。当日は体育館の上にシートを張り、全校で鑑賞した。将来の夢やSDGsを意識した絵など、夢や希望が詰まった作品が完成した。



イ 合奏団での校歌演奏

5・6年生の希望者約30名で合奏団を結成した。練習計画はTeamsで共有し、児童の実態に応じて変更できるようにした。児童は意欲的に活動に取り組み、当日の演奏では大きな拍手をもらうことで、充実感や達成感を味わっていた。参加した児童からは、「またやりたい。」という声もあがっていた。



3 成果と課題

児童が主体となって企画・運営を行う場を設定したことで、児童は自主的に、そしていきいきと活動していた。運営委員会の反省会では、すでに児童から次の企画の提案がなされ、互いに声をかけ合い準備を行っており、主体的・実践的な態度が育った。今回は、創立記念集会という大きな行事であったが、来年度は各学年行事や委員会活動等へ児童主体の活動の場を広げていきたい。